

日本の研究不正の状況は 海外からどのように見られているのか？

近年、国や資金配分機関が、次々と研究不正行為対策のためのガイドライン等を定め、大学に対して、機関として責任をもって不正行為を抑止する環境づくりに取り組むよう求めています。しかし、大学の現場において、それらの動向を的確に把握し研究公正に取り組んでいくことは、研究、教育やその他の業務で多忙な中において容易ではありません。

本セミナーでは、研究公正に関する国内外の最新の動向とその中で日本の位置づけについて、様々な統計データとともにご紹介いただき、今、われわれは研究不正という問題にどう取り組めばよいのか、考える機会としたいと思います。

島根大学に所属するすべての研究者の方々、研究者としてのキャリアを志す学生の皆さん、研究支援業務に携わる職員の方々など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講師

松澤 孝明 氏

日本医療研究開発機構（AMED） 研究公正・業務推進部長

講師紹介

1989年科学技術庁入庁。2020年4月より現職。博士人材問題を中心とする科学技術人材問題、国家の研究公正システム、研究不正に関わる問題について調査・研究に取り組む。

日時

2021年1月21日 **木** 10:45~12:00

場所

島根大学関係者にウェブ配信

※Zoomを用いてオンライン配信します。

対象

島根大学の全教職員、大学院生

お申込用QRコード



※お手持ちのスマートフォン等で読み取ると直接申込みフォームへアクセスできます。

お問合せ 島根大学企画部研究協力課

Tel:0852-32-6056 (内線2145 出雲キャンパスからは9-2145)

お申込み専用URL: <https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/kenrinri2020>

申込期限は、1月19日（火）とさせていただきます。